

健康増進編

1 健康手帳の交付

市区町村における健康手帳交付数は 1,027,680 人で、男 383,673 人、女 567,753 人となっている（表 1）。

表 1 健康手帳の交付状況

(単位:人) 平成24(2012)年度

	総 数	40～74歳	75歳以上
総 数	1 027 680	847 478	136 753
男	383 673	329 700	53 973
女	567 753	489 041	78 712

注：年齢階級別及び性別の計数が不詳の市区町村があるため、総数と年齢階級別及び性別の計が一致しない。

2 健康診査

市区町村が実施した健康診査の受診者数は 99,553 人で、男 46,603 人、女 52,950 人となっている（表 2）。

検査結果の状況をみると、「糖尿病個別健康教育対象者（ア）」28,962 人、「高血圧症個別健康教育対象者（イ）」28,901 人となっている（表 3）。

表 2 性・年齢階級別にみた健康診査における受診者の状況

(単位:人) 平成24(2012)年度

	受診者数	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
総 数	99 553	12 581	15 042	13 484	14 528	16 373	27 545
男	46 603	5 491	8 477	8 130	7 646	7 314	9 545
女	52 950	7 090	6 565	5 354	6 882	9 059	18 000

注：1 老人保健法に基づき市区町村が実施していた基本健康診査は、平成20年度より高齢者の医療の確保に関する法律に基づき保険者が実施する特定健康診査と、健康増進法に基づき市区町村が実施する健康診査に分かれた。本報告では市区町村が実施した健康診査について計上している。

2 健康診査の受診者数は、「健康診査」、「訪問健康診査」及び「介護家族訪問健康診査」の受診者数の合計である。

表 3 性別にみた健康診査における検査結果の状況

平成24(2012)年度

	受診者数	検 査 結 果								
		血 圧		脂質異常		糖 尿 病		貧 血 (疑いを含む。)	肝 疾 患 (疑いを含む。)	腎機能障害 (疑いを含む。)
		高血圧症 個別健康教育 対象者(ア)	高血圧症 個別健康教育 対象者(イ)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(ア)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(イ)	糖尿病 個別健康教育 対象者(ア)	糖尿病 個別健康教育 対象者(イ)			
総 数 (人)	99 553	12 366	28 901	21 954	26 841	28 962	12 133	13 619	16 582	12 015
受診者数に 占める割合(%)	100.0	12.4	29.0	22.1	27.0	29.1	12.2	13.7	16.7	12.1
男 (人)	46 603	5 634	14 664	10 562	12 257	13 390	6 727	6 313	10 143	5 776
受診者数に 占める割合(%)	100.0	12.1	31.5	22.7	26.3	28.7	14.4	13.5	21.8	12.4
女 (人)	52 950	6 732	14 237	11 392	14 584	15 572	5 406	7 306	6 439	6 239
受診者数に 占める割合(%)	100.0	12.7	26.9	21.5	27.5	29.4	10.2	13.8	12.2	11.8

注：「個別健康教育対象者(ア)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の発症予防等のため指導が必要な者で、平成24年度中に指導を開始した者をいい、「個別健康教育対象者(イ)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の重症化予防等のため個別健康教育による指導が有効であると医師が認めた者で平成24年度中に指導を開始した者をいう。

3 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診

市区町村が実施した歯周疾患検診の受診者数は 266,606 人、骨粗鬆症検診の受診者数は 312,144 人となっている。

受診者数に占める指導区分の割合をみると、「要精検者」は歯周疾患検診では 81.0 %、骨粗鬆症検診 13.7 %となっている。(表 4)

市区町村における平成 24 年度の検診実施率は、歯周疾患検診 56.4 %、骨粗鬆症検診 61.2 %となっている(表 5)。

表 4 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施状況

(単位:人)

平成24(2012)年度

		受診者数 ¹⁾	指 導 区 分					
			要精検者		要指導者		異常認めず	
			要精検者	受診者数に占める割合(%)	要指導者	受診者数に占める割合(%)	異常認めず	受診者数に占める割合(%)
歯周疾患検診	総 数	266 606	216 009	81.0	23 589	8.8	25 571	9.6
	40 歳	75 289	59 686	79.3	7 259	9.6	7 850	10.4
	50 歳	53 447	43 406	81.2	4 781	8.9	4 989	9.3
	60 歳	61 218	50 224	82.0	5 173	8.5	5 537	9.0
	70 歳	76 652	62 693	81.8	6 376	8.3	7 195	9.4
骨粗鬆症検診 ²⁾	総 数	312 144	42 685	13.7	86 698	27.8	182 660	58.5
	40 歳	37 123	757	2.0	3 821	10.3	32 545	87.7
	45 歳	24 141	541	2.2	2 523	10.5	21 077	87.3
	50 歳	36 257	1 047	2.9	4 545	12.5	30 665	84.6
	55 歳	32 305	2 539	7.9	7 855	24.3	21 905	67.8
	60 歳	53 959	8 012	14.8	18 797	34.8	27 137	50.3
	65 歳	70 259	14 429	20.5	26 928	38.3	28 858	41.1
	70 歳	58 100	15 360	26.4	22 229	38.3	20 473	35.2

注: 1) 指導区分の計数が不詳の市区町村があるため、受診者数と指導区分の計が一致しない。

2) 「骨粗鬆症検診」の対象者は女性である。

表 5 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施市区町村数及び検診実施率の年次推移

	歯周疾患検診					骨粗鬆症検診				
	平成20年度 (2008)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)	23年度 ('11)	24年度 ('12)	平成20年度 (2008)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)	23年度 ('11)	24年度 ('12)
実施市区町村数	954	941	921	959	981	1 106	1 075	1 034	1 062	1 063
検診実施率(%) ²⁾	53.0	53.9	54.2	55.2	56.4	61.4	61.6	60.8	61.1	61.2
全国市区町村数	1 800	1 746	1 700	1 738	1 738	1 800	1 746	1 700	1 738	1 738

注: 1) 平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

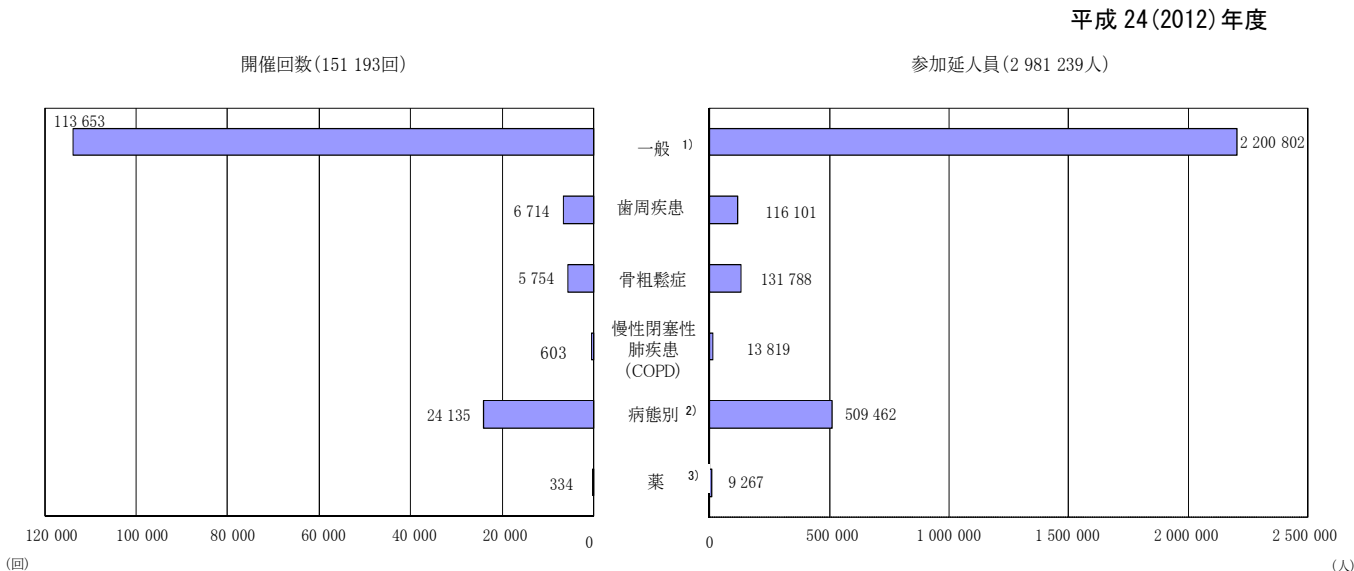
2) 検診実施率=(実施市区町村数/全国市区町村数)×100

4 健康教育

市区町村が実施した集団健康教育の開催回数は151,193回、参加延人員は2,981,239人となっている。

内容別にみると、開催回数、参加延人員ともに、「一般」が最も多くなっている。(図1)

図1 集団健康教育の実施状況



5 健康相談

平成24年度に市区町村が実施した健康相談の被指導延人員は1,443,985人であり、そのうち重点健康相談は532,783人となっている。

重点健康相談を内容別にみると、「病態別」が176,875人と最も多くなっている。(表6)

表6 健康相談の年次推移

(単位:人)

		被指導延人員				
		平成20年度 (2008)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)	23年度 ('11)	24年度 ('12)
総数		1 693 691	1 658 638	1 537 679	1 540 898	1 443 985
重点健康相談	総数	562 188	553 651	532 941	548 046	532 783
	高血圧	94 872	88 236	85 446	100 251	84 289
	脂質異常症	27 901	25 458	24 377	24 386	24 756
	糖尿病	35 455	30 305	30 705	34 451	36 412
	歯周疾患	91 236	83 792	84 146	81 681	85 505
	骨粗鬆症	103 918	107 085	104 002	108 438	104 947
	女性の健康	…	27 634	27 756	24 515	19 999
	病態別 ²⁾	208 806	191 141	176 509	174 324	176 875
総合健康相談		1 131 503	1 104 987	1 004 738	992 852	911 202

注:1) 平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村(釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市)、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村(南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市)が含まれていない。

2) 「病態別」とは、重点健康相談の「高血圧」から「女性の健康」を除く(平成20年度は「高血圧」から「骨粗鬆症」を除く)、肥満、心臓病等の病態別に、個人の食生活その他の生活習慣を勘案して行う相談指導等をいう。

6 機能訓練

平成 24 年度に市区町村が実施した機能訓練の実施状況は、実施施設数 341 か所、被指導延人員 54,094 人となっている（表 7）。

表 7 機能訓練の年次推移

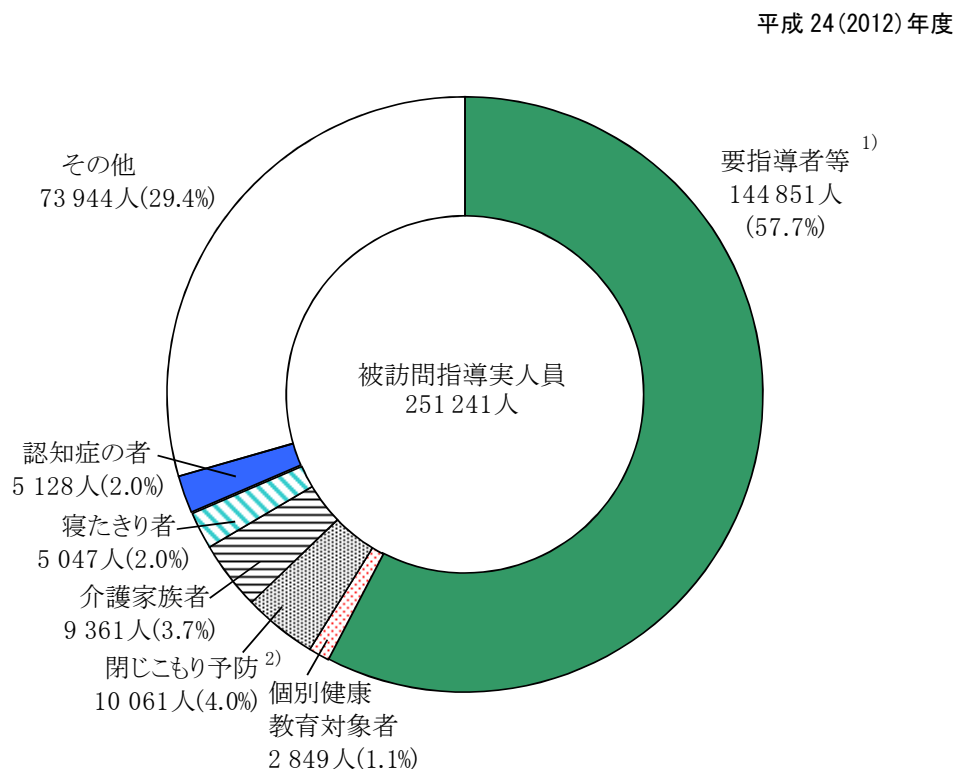
	平成20年度 (2008)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)	23年度 ('11)	24年度 ('12)
実施施設数 (か所)	580	511	459	369	341
実施回数 (回)	16 286	14 195	13 647	12 582	11 473
被指導実人員 (人)	5 002	4 695	4 431	3 755	3 980
被指導延人員 (人)	79 699	75 008	70 688	54 581	54 094

注:1) 平成22年度は、東日本震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯舘村、会津若松市）が含まれていない。

7 訪問指導

市区町村が実施した訪問指導の被訪問指導実人員は 251,241 人となっており、訪問指導の対象者別にみると、「要指導者等」が 144,851 人（57.7 %）と最も多くなっている（図 2）。

図 2 訪問指導の対象者別にみた被訪問指導実人員



注:1)「要指導者等」とは、生活習慣病改善のための指導を行った者をいう。

2)「閉じこもり予防」とは、介護予防の観点から支援が必要な者で、健康管理上訪問指導が必要と認められた者をいう。

8 がん検診

(1) がん検診の受診者数及び受診率

平成24年度に市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」9.0%、「肺がん」17.3%、「大腸がん」18.7%、「子宮がん」23.5%、「乳がん」17.4%となっている（表8、図3）。

表8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移

(単位:人)

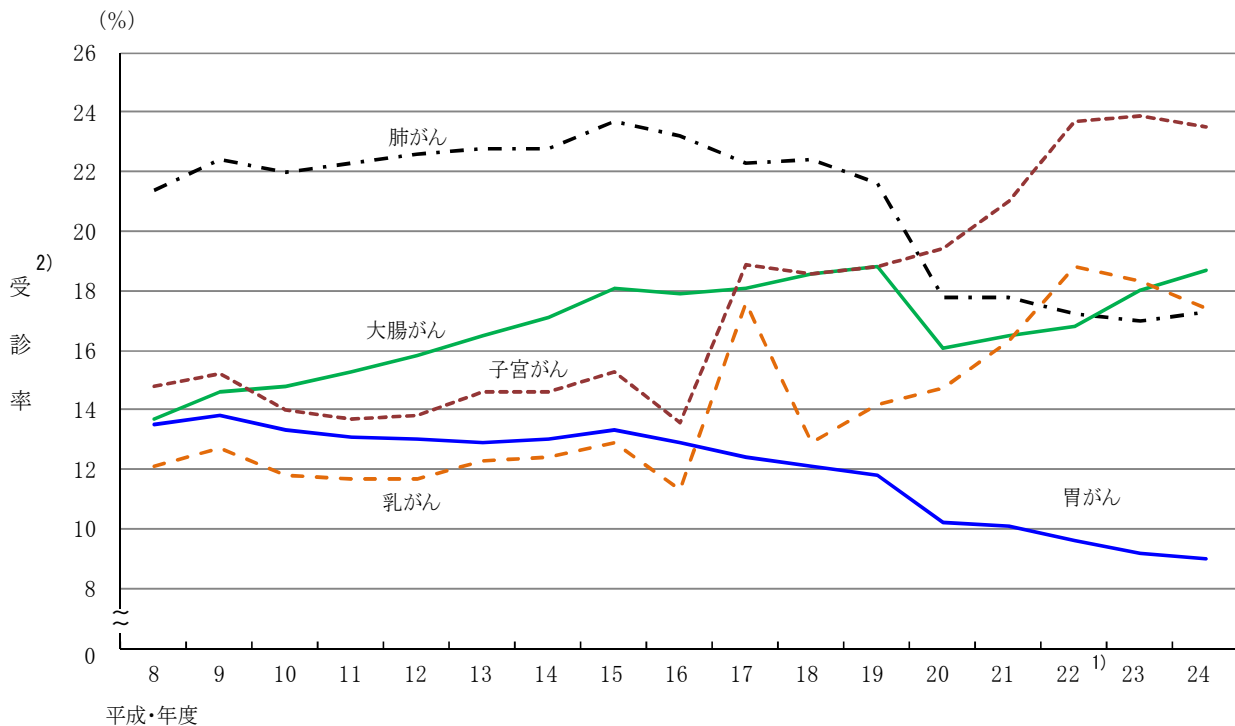
		平成20年度 (2008)	21年度 ('09)	22年度 ¹⁾ ('10)	23年度 ('11)	24年度 ('12)
胃がん	受診者数	3 916 203	3 946 780	3 775 071	3 809 890	3 788 969
	受診率 (%) ²⁾	10.2	10.1	9.6	9.2	9.0
肺がん	受診者数	6 685 467	6 911 047	6 799 918	7 087 151	7 291 794
	受診率 (%) ²⁾	17.8	17.9	17.2	17.0	17.3
大腸がん	受診者数	6 418 334	6 693 859	6 761 698	7 649 103	7 988 767
	受診率 (%) ²⁾	16.1	16.5	16.8	18.0	18.7
子宮がん	受診者数	3 499 278	4 412 368	4 533 835	4 516 207	4 495 670
	受診率 (%) ²⁾	19.4	21.0	23.7	23.9	23.5
乳がん	受診者数	1 792 176	2 574 508	2 492 868	2 523 008	2 377 791
	受診率 (%) ²⁾	14.7	16.3	18.8	18.3	17.4

注:「受診者数」及び「受診率」については、24～26頁「IV 用語の解説」参照。

1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

2)受診率は、計数が不詳の市区町村を除いた値である。

図3 がん検診受診率の年次推移



注:「受診率」については、24～26頁「IV 用語の解説」参照。

1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

2)受診率は、計数が不詳の市区町村を除いた値である。

(2) がん検診受診率の分布状況

市区町村のがん検診受診率の分布をみると、がん検診受診率が「50 %以上」と高い市区町村数は、「肺がん」が 156（全国市区町村数に占める割合 9.0 %）と最も多く、次いで「子宮がん」が 78（同 4.5 %）となっている。一方、がん検診受診率が「0～10 %未満」と低い市区町村数は、「胃がん」が 708（同 40.7 %）と最も多く、次いで「乳がん」が 443（同 25.5 %）となっている。（表 9、図 4）

表 9 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

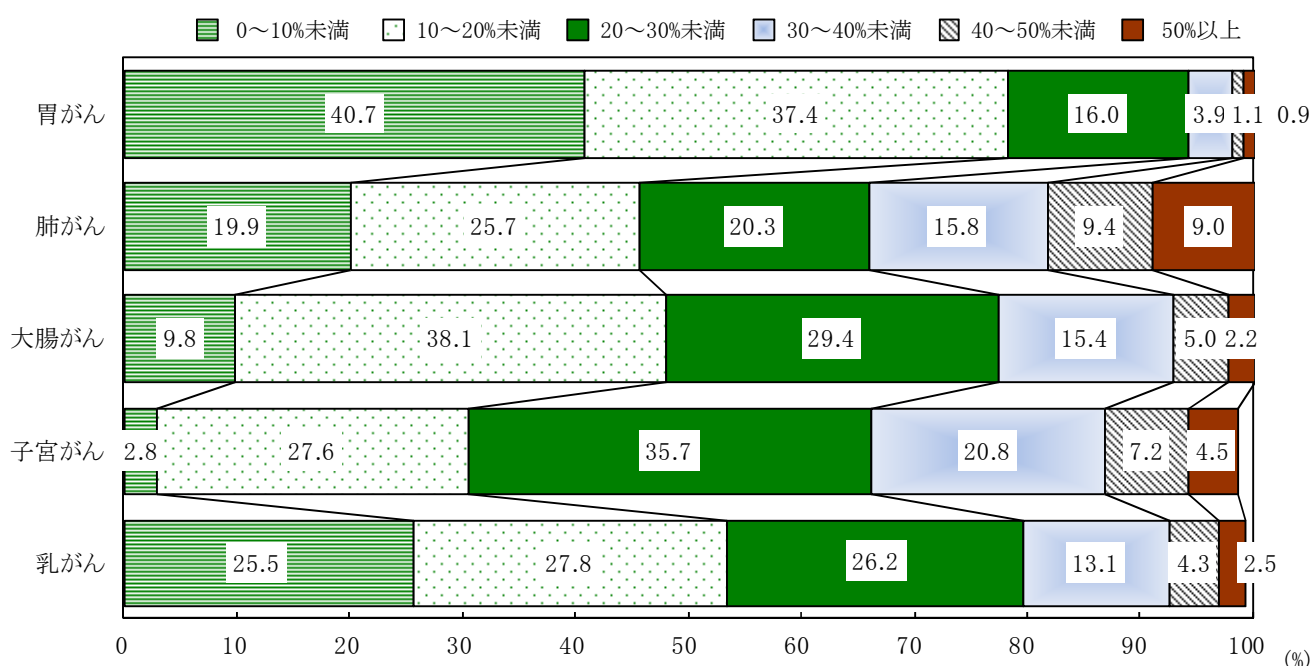
平成 24 (2012) 年度

	全 国 ¹⁾ 市区町村数	がん検診受診率別市区町村数					
		0～10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50%以上
胃がん	1 738	708	650	278	67	19	16
肺がん	1 738	346	446	352	275	163	156
大腸がん	1 738	170	663	511	268	87	39
子宮がん	1 738	49	479	620	361	126	78
乳がん	1 738	443	483	455	227	74	43

注：1)「全国市区町村数」はがん検診受診率が不詳を含む。

図 4 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成 24 (2012) 年度



注：総数にはがん検診受診率が不詳を含む。

(3) 平成 23 年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

平成 23 年度に市区町村が実施したがん検診における要精密検査者のうちがんであった者数の、がん検診受診者数に対する割合は、「胃がん」0.16 %、「肺がん」0.06 %、「大腸がん」0.22 %、「子宮がん」0.08 %、「乳がん」0.32 % となっている（表 10）。

表 10 平成 23 年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況 ¹⁾

(単位:人)

平成23(2011)年度

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
がん検診受診者数 ¹⁾	3 789 998	7 092 407	7 674 030	4 498 602	2 511 299
要精密検査者数 ¹⁾	346 719	190 266	543 330	79 306	210 347
精密検査受診率 ²⁾ (%)	80.5	77.9	63.0	68.0	84.4
がん検診受診者数に対する割合 (%)	9.15	2.68	7.08	1.76	8.38
がんであった者数 ¹⁾	6 178	4 228	16 736	3 454	8 047
がん検診受診者数に対する割合 (%)	0.16	0.06	0.22	0.08	0.32
要精密検査者数に対する割合 (%)	1.78	2.22	3.08	4.36	3.83
精密検査未受診者数 ¹⁾	33 101	17 117	93 882	10 944	11 602
精密検査未受診率 ²⁾ (%)	9.5	9.0	17.3	13.8	5.5
精密検査未把握者数 ¹⁾	34 355	24 916	107 300	14 417	21 200
精密検査未把握率 ²⁾ (%)	9.9	13.1	19.7	18.2	10.1

注：1) 平成24年度に精密検査を受診し、結果が判明した者についても含めている。

がん検診受診者数については平成23年度受診者を平成24年度報告で改めて把握したものであり、「表 8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移」の平成23年度がん検診受診者数の数値とは異なる。

2) 「精密検査受診率」、「精密検査未受診率」及び「精密検査未把握率」については、24～26頁「IV 用語の解説」参照。「精密検査未受診者数」及び「精密検査未把握者数」の計数が不詳の市区町村を除いた値である。

9 肝炎ウイルス検診

平成 24 年度に市区町村が実施した肝炎ウイルス検診の受診者数は、「B型肝炎ウイルス検診」886,698 人、「C型肝炎ウイルス検診」884,324 人となっている。

B型肝炎ウイルス検診において「陽性」と判定された者は 9,083 人、C型肝炎ウイルス検診において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された者は 7,037 人となっている。（表 11）

肝炎ウイルスに関する健康教育の開催回数は 994 回、参加延人員は 30,631 人、健康相談の開催回数は 2,416 回、参加延人員は 12,241 人となっている（表 12）。

表 11 肝炎ウイルス検診の実施状況

（単位：人）

	B型肝炎ウイルス検診					
	受診者数			「陽性」と判定された者		
	平成22年度 ¹⁾ (2010)	23年度 ('11)	24年度 ('12)	平成22年度 ¹⁾ (2010)	23年度 ('11)	24年度 ('12)
総 数	545 767	796 856	886 698	5 238	7 478	9 083
40歳	62 608	84 901	94 568	382	504	897
41～44歳	39 019	62 147	74 386	313	459	535
45～49歳	34 607	66 064	77 688	342	528	765
50～54歳	36 486	69 230	77 989	371	614	796
55～59歳	45 958	80 416	85 421	571	871	1 006
60～64歳	95 264	148 557	151 718	1 104	1 734	1 875
65～69歳	85 538	114 415	145 233	969	1 391	1 652
70歳以上	146 287	171 126	179 695	1 186	1 377	1 557

	C型肝炎ウイルス検診					
	受診者数			「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い」と判定された者		
	平成22年度 ¹⁾ (2010)	23年度 ('11)	24年度 ('12)	平成22年度 ¹⁾ (2010)	23年度 ('11)	24年度 ('12)
総 数	542 478	793 760	884 324	4 517	5 531	7 037
40歳	63 715	84 922	94 686	333	440	567
41～44歳	38 875	62 131	74 329	198	175	251
45～49歳	34 308	65 961	77 642	246	354	404
50～54歳	36 062	69 057	77 877	278	361	507
55～59歳	45 220	80 053	85 269	305	411	620
60～64歳	94 283	147 715	150 995	575	840	1 143
65～69歳	84 936	113 746	144 588	673	785	1 207
70歳以上	145 079	170 175	178 938	1 909	2 165	2 338

1) 平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

表 12 肝炎ウイルスに関する健康教育・健康相談の実施状況

平成 24(2012)年度

健 康 教 育		健 康 相 談	
開催回数(回)	参加延人員(人)	開催回数(回)	参加延人員(人)
994	30 631	2 416	12 241